

防災訓練（要素訓練）結果報告の概要【埋設事業部】

1. 訓練の目的

本訓練は、廃棄物埋施設における原子力災害発生時の対応能力の習得・向上を図ることを目的とする。

2. 実施日

2015年10月29日（木）～2016年2月15日（月）
（訓練ごとの実施日は、「添付資料」参照）

3. 実施場所

濃縮・埋設事務所、低レベル廃棄物管理建屋および保健管理建屋

4. 実施体制、評価体制および参加人数

（1）実施体制

訓練ごとに実施責任者を設け、実施担当者が訓練を行う。

（2）評価体制

定められた手順書等に基づき、各班の対策活動（通報連絡、避難誘導、救護活動、モニタリング活動）が実施できるかを実施責任者が評価する。

（3）参加人数

「添付資料」のとおり。

5. 原子力災害想定概要

廃棄体を吊った払い出し天井クレーン吊具の構内輸送車両上への落下に伴う、廃棄体の内容物漏出および廃棄体への火災の延焼を想定する。

6. 防災訓練の項目

要素訓練

7. 防災訓練の内容

（1）通報訓練

（2）避難誘導訓練

（3）救護訓練

（4）モニタリング訓練

8. 訓練結果概要

（1）通報訓練

通報連絡に係る前年度反省事項の対応策および原災法第10条通報、原災法第15条報告、原災法第25条報告の記載方法を確認した。

また、事象進展を模擬した状況付与を適宜行い、原災法第10条通報、原災法第25条報告の通報文を作成し、社外（模擬者）への通報連絡等を実施した。

(2) 避難誘導訓練

事象進展にあわせた総務班内での対策活動の一連の流れを確認した。

また、事象進展を模擬した状況付与を適宜行い、見学者・作業者の避難誘導（模擬）、現場退避指示等を実施した。

(3) 救護訓練

事象進展にあわせた救護班内での対策活動の一連の流れを確認した。

また、事象進展を模擬した状況付与を適宜行い、負傷者の搬送・応急処置を実施した。

(4) モニタリング訓練

放射線管理班内での活動内容、必要な資機材、配備場所等を確認した。

また、対策本部内での情報収集（発災現場の線量当量率、ダスト濃度測定結果等）や発災現場における活動（立入制限区域の設定、線量測定、ダスト濃度測定等）を実施した。

9. 訓練の評価

通報訓練、避難誘導訓練、救護訓練およびモニタリング訓練の活動内容に関する対応手順等を確認するとともに、対処方法、対応要員との連携等について、理解を深めることができた。

訓練ごとの実施結果および今後に向けた改善点は添付資料のとおり。

以 上

〈添付資料〉

要素訓練の概要

要素訓練の概要

訓練項目	実施日	実施体制 ①実施責任者 ②実施担当者	参加人数	実施結果	今後に向けた改善点
(1) 通報訓練	2015/10/29	①本部事務局班長 ②本部事務局員	10名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通報連絡に係る前年度反省事項の対応策および原災法第10条通報、原災法第15条報告、原災法第25条報告の記載方法を確認した。 ・ 事象進展を模擬した状況付与を適宜行い、原災法第10条通報、原災法第25条報告の通報文を作成し、社外（模擬者）への通報連絡等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原災法第25条報告については、前回通報した内容との紐付けが明確となるような工夫が必要である。 ・ 時間短縮の観点から、通報文作成者の要員数について考慮が必要である。
(2) 避難誘導訓練	2016/2/3	①運転管理班長 ②運転管理班員	6名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事象進展を模擬した状況付与を適宜行い、現場避難指示・避難誘導等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難誘導の実対応にあわせ、誘導先の情報についても報告内容に含めることが望ましい。 ・ 必要な対応が終了した後においても、班員全体で事象の状況整理等を行うことが望ましい。
	2016/2/15	①総務班長 ②総務班員	8名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事象進展にあわせた総務班内での対策活動の一連の流れを確認した。 ・ 事象進展を模擬した状況付与を適宜行い、見学者・作業者の避難誘導（模擬）等を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際の状況を模擬した対応（模擬者を設定した活動、シナリオコントローラからの詳細な状況付与）が必要である。 ・ 班長・副班長の指示がなくとも自ら対応・行動するため、訓練を重ね、習熟度を高めていく必要がある。
(3) 救護訓練	2016/2/8	①救護班長 ②救護班員	11名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事象進展にあわせた救護班内での対策活動の一連の流れを確認した。 ・ 事象進展を模擬した状況付与を適宜行い、負傷者の搬送・応急処置を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 負傷者の設定について、より厳しい条件設定（管理区域内、汚染あり等）のもと習熟度を高めていく必要がある。

訓練項目	実施日	実施体制 ①実施責任者 ②実施担当者	参加人数	実施結果	今後に向けた改善点
(4)モニタリング 訓練	2016/2/10	①放射線管理班長 ②放射線管理班員	9名 (当社社員)	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線管理班内での活動内容、必要な資機材、配備場所等を確認した。 ・対策本部内での情報収集（発災現場の線量当量率、ダスト濃度測定結果等）や発災現場における活動（立入制限区域の設定、線量測定、ダスト濃度測定等）を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立入制限区域の設定や資機材配備に時間を要したため、役割分担を明確にしながらか訓練を重ね、習熟度を高めていく必要がある。 ・強風に備え、区画物の転倒防止のための措置を講じる必要がある。